

病院におけるアスベスト使用実態調査に係るフォローアップ調査実施要領

1. 調査対象病院

「病院における吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査に係るフォローアップ調査及びアスベスト（石綿）含有保温材等実態調査の調査結果の公表並びに今後の対応等について（通知）」（平成 28 年 12 月 27 日付け医政発 1227 第 1 号厚生労働省医政局長通知。以下「局長通知」という。）の調査結果による以下の病院。

	ばく露のおそれのある場所を有する病院	分析調査中の病院	未回答の病院	合計
吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査に係るフォローアップ調査	16 病院	16 病院	0 病院	32 病院
アスベスト（石綿）含有保温材等使用実態調査	147 病院	1,516 病院	87 病院	1,750 病院
合計	163 病院	1,532 病院	87 病院	1,782 病院

※上記のうち、国立ハンセン病療養所、国立高度専門医療研究センター、国立病院機構及び地域医療機能推進機構の病院は除く。

2. 第 1 回フォローアップ調査について

(1) 平成 28 年 12 月に公表したアスベスト使用実態調査（以下「平成 28 年調査」という。）の結果を踏まえ、アスベスト対策に係る指導状況等について、様式 1-1 及び様式 1-2 を作成し、提出すること。なお、様式の作成にあたっては、必要に応じて病院への聞き取り等を行うこと。

(2) 様式 1 の作成要領

- ・ 様式 1-1 は「吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査に係るフォローアップ調査」における、ばく露のおそれのある場所を有する病院、分析調査中の病院及び未回答の病院（全都道府県計 32 病院）について、様式 1-2 は「アスベスト（石綿）含有保温材等使用実態調査」における、ばく露のおそれのある場所を有する病院、分析調査中の病院及び未回答の病院（全都道府県計 1,750 病院）について、作成すること。
- ・ 開設者種別に付している番号順に記入すること。
- ・ 「開設者種別」欄は、(別紙 1) の区分に基づき、プルダウンから該当するものを選択すること。
- ・ 「病院の状況」欄は、平成 28 年調査の調査結果に基づき、「ばく露のおそれのある状態」、「分析調査依頼中」、「分析調査依頼予定」、「未回答」のうち、該当するものをプルダウンから選択すること。平成 28 年調査の調査結果と整合性がとれていること。

- ・「今後の計画」欄は、病院への聞き取り結果等に基づき、「除去等の措置を実施」、「分析調査を実施」、「設計図書等による確認を実施」、「未定」のうち、該当するものをプルダウンから選択すること。
- ・「時期」欄は、病院への聞き取り結果等に基づき、「今後の計画」を実行する時期をできるだけ具体的に記入すること（「平成〇年〇月」と具体的に記入。「平成〇年度中」は不可。）。場所ごとに措置等の時期が異なる場合は、それぞれの時期を具体的に記載すること。
- ・「今後の計画や時期が未定の理由」欄は、「今後の計画」欄または「時期」欄が「未定」である病院について、未定となっている理由について具体的に記入すること。
- ・「指導の内容」欄は、都道府県等が病院の状況に応じて指導を実施した場合は、指導の内容を記入すること。

（３）調査表提出期限等

① 提出書類

提出書類	提出が必要な都道府県
別添様式 1-1	北海道、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、福岡県
別添様式 1-2	熊本県を除く全都道府県

② 提出期限

平成 29 年 3 月 17 日（金）

調査表の提出に当たっては、Excel で作成のうえ、③の提出先にメールで提出いただくとともに、病院への照会を行った場合は、病院からの回答文書は各都道府県において適切に保管すること。

③ 提出先

厚生労働省医政局地域医療計画課

医療関連サービス室技術管理係

E-mail : byouin-asbesto@mhlw.go.jp

3. 第 2 回フォローアップ調査について

（１）調査方法

① ばく露のおそれのある場所を有する病院について

平成 28 年調査の調査結果における「ばく露のおそれのある場所を有する病院」のその後の措置状況について、様式 7 により病院に調査を行い、それを踏まえて、様式 3 及び様式 4 を作成し提出すること。（様式 3 を作成する際には、今回の調査対象病院のみについて記載するのではなく、平成 28 年調査において既に調査済みの病院に

についても合わせて、各都道府県の全病院について記載すること。)

平成 28 年調査以降に措置済みとなった病院については、様式 5 を作成し提出すること。

② 分析調査中の病院及び未回答の病院について

平成 28 年調査の調査結果における「分析調査中の病院」及び「未回答の病院」のその後の状況について、様式 6 により病院に調査を行い、それを踏まえて、様式 3 を作成し提出すること。(様式 3 を作成する際には、今回の調査対象病院のみについて記載するのではなく、平成 28 年調査において既に調査済みの病院についても合わせて、各都道府県の全病院について記載すること。)

様式 6 によるその後の状況の回答で、ばく露のおそれがある場所を有することが判明した病院については、様式 7 を併せて作成させ、それを踏まえて、様式 4 を作成し、そのうち新たに措置済みとなった病院については、様式 5 を作成し併せて提出すること。

③ 指導状況のフォローアップについて

病院への本フォローアップ調査の結果や平成 29 年度の立入検査の結果等を踏まえ、様式 2 を作成し、提出すること。なお、様式の作成にあたっては、必要に応じて病院への聞き取り等を行うこと。

(2) 調査表の作成要領

① 様式 2 について

- ・ 様式 2-1 は「吹付けアスベスト（石綿）等使用実態調査に係るフォローアップ調査」における、ばく露のおそれのある場所を有する病院、分析調査中の病院及び未回答の病院（全都道府県計 32 病院）について、様式 2-2 は「アスベスト（石綿）含有保温材等使用実態調査」における、ばく露のおそれのある場所を有する病院、分析調査中の病院及び未回答の病院（全都道府県計 1,750 病院）について、作成すること。
- ・ 様式 2-1 の a~e 欄は、平成 29 年 3 月に当課に提出する様式 1-1 の a~e 欄をそのまま転記すること。やむを得ず修正する場合は、修正したセルを黄色で塗りつぶすこと。
- ・ 様式 2-2 の a~f 欄は、平成 29 年 3 月に当課に提出する様式 1-2 の a~f 欄をそのまま転記すること。やむを得ず修正する場合は、修正したセルを黄色で塗りつぶすこと。
- ・ 「計画の実施状況」欄は、平成 29 年 3 月に報告する「今後の計画」が適切に実施されていれば「○」、実施されていない場合は「×」をプルダウンから選択すること。
- ・ 「病院の状況」欄は、フォローアップ調査の結果に基づき、「アスベストが使用されていない」、「ばく露のおそれのない状態」、「措置済み」、「ばく露のおそれのある状

態」、「分析調査依頼中」、「分析調査依頼予定」、「未回答」のうち、該当するものをプルダウンから選択すること。このうち、「ばく露のおそれのある状態」、「分析調査依頼中」、「分析調査依頼予定」、「未回答」の病院数については、様式3の該当する欄と数値の整合性がとれていることを確認すること。

- ・「今後の計画」欄は、病院への聞き取り結果等に基づき、「除去等の措置を実施」、「分析調査を実施」、「設計図書等による確認を実施」、「未定」のうち、該当するものをプルダウンから選択すること。
- ・「時期」欄は、病院への聞き取り結果等に基づき、「今後の計画」を実行する時期をできるだけ具体的に記入すること（「平成〇年〇月」と具体的に記入。「平成〇年度中」は不可。）。場所ごとに措置等の時期が異なる場合は、それぞれの時期を具体的に記載すること。
- ・「今後の計画や時期が未定の理由」欄は、「今後の計画」欄または「時期」欄が「未定」である病院について、未定となっている理由について具体的に記入すること。
- ・「指導の内容」欄は、都道府県等が病院の状況に応じて指導を実施した場合は、指導の内容を記入すること。

② 様式3について

病院から提出された様式6及び様式7（病院個表）を開設者種別ごとに取りまとめ、様式3の「総括表」を作成すること。様式3を作成する際には、今回の調査対象病院のみについて記載するのではなく、平成28年調査において既に調査済みの病院についても合わせて、各都道府県の全病院について記載すること。その他、様式に記載している記入要領に従い作成すること。

③ 様式4について

病院から提出された様式7（病院個表）を開設者種別ごとに取りまとめ、様式4の「総括表」を作成すること。

備考欄には、次のいずれかの記号を記載すること。

「済」・・・平成28年調査時から「措置状況」が全て「措置済」となった病院。

「改」・・・平成28年調査時から「措置状況」に更新があった病院。

※更新前の状況も記載すること。また、ばく露のおそれのある場所が複数で、そのうち一部の更新の場合は、「一部改」としその内容を記載すること。

「継」・・・平成28年調査時から継続して「措置状況」に変更がない病院。

「新」・・・平成28年調査時に「分析調査中」又は「未回答」であった病院で、その後、新たに「ばく露のおそれがある場所を有する」ことが判明した病院。

④ 様式5について

平成28年調査における、「ばく露のおそれのある場所を有する病院」、「分析調査中

の病院」及び「未回答の病院」が、その後、措置済となった場合は、その病院名、措置内容、措置年月日等を区分ごとに記載すること。その他、様式に記載している記入要領に従い作成すること。

⑤ **様式 6** について

平成 28 年調査における「分析調査中の病院」（全都道府県計 1,532 病院）及び「未回答の病院」（全都道府県計 87 病院）が、その後の状況を記載すること。その他、様式に記載している記入要領に従い作成すること。

⑥ **様式 7** について

ア 平成 28 年調査における、ばく露のおそれがある場所を有する病院（全都道府県計 163 病院）が、その後の措置状況を記載すること。（措置済みの場合も記載すること。）

イ 平成 28 年調査における、「分析調査中の病院」（全都道府県計 1,532 病院）及び「未回答の病院」（全都道府県計 87 病院）で、その後、新たにばく露のおそれがある場所を有することが判明した病院が、その措置状況を記載すること。

(3) 調査表提出期限等

① 提出書類

提出書類	提出が必要な都道府県
別添様式 2-1	北海道、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、福岡県
別添様式 3-1	
別添様式 4-1	
別添様式 5-1	
別添様式 2-2	熊本県を除く全都道府県
別添様式 3-2	
別添様式 4-2	
別添様式 5-2	

② 提出期限

平成 29 年 9 月 29 日（金）

調査表の提出に当たっては、Excel で作成のうえ、下記の提出先にメールで提出いただくとともに、病院個表については各都道府県において、適切に保管すること。

また、本調査結果、設計図書及び工事記録等アスベスト関連書類については、各病院開設者または管理者において適切に保存すること。

なお、対象病院の立入検査は優先的に実施すること。

③ 提出先

厚生労働省医政局地域医療計画課

医療関連サービス室技術管理係

E-mail : byouin-asbesto@mhlw.go.jp